

世界トレイルO選手権  
2005年8月9-12日

# 杉本光正 世界の銅

藤島由宇



ニッポン選手がメダルを獲った！ 昨年より始まったトレイルO世界選手権。昨年の6位の山口選手を大きく上回り、はじめてのメダル獲得だ。

世界トレイルO選手権大会  
2005年8月9日(火)-12日(金)  
愛知県額田町 作手村

## 杉本選手・銅獲得！

2005年8月9-12日にかけて行われた世界トレイルO選手権大会において、日本代表選手6名が世界各国の強豪に挑みました。その中で総合クラスの杉本光正選手(ES 関東C)が第3位に食い込み、見事に銅メダルを獲得しました。トレイルOが導入されてから8年の日本にとって大変な快挙です。

## 大会を振り返って

杉本光正選手

とにかく嬉しいです。そして疲れませんでした。2時間半のレースなのですが、肉体的な疲れではなくて、精神的なものです。ずっしりと縛られていたような感じからようやく解放された感じですが、それからこの大会ではか

なり期待されていたところもありましたので(笑) それを裏切らなくて良かったと思っています。

田中淳一選手

Day1での順位があまり良くなかったのでこのDay2で順位を上げたかったが、通常コントロールは全て正解したもののタイム・コントロールを2つとも間違っしまい、残念な結果になった。これからも経験を積んで行きたい。



宮川裕子選手

Day1ではコースプランナーの思惑にはまってしまうことが、Day2では少し挽回する事ができました。ホントにわずかな地形の違いを読み取らなければならないような難しいコントロールばかりで疲れしました。でも楽しかったです。

## 役員よりメッセージ

高橋厚(総責任者兼競技責任者)

このたびの世界選手権に当たりましては大変なご支援、ご協力を賜りましたこと、心から厚くお礼申し上げます。お蔭様で参加選手・オフィシャルからは感謝の言葉をたくさんいただき、IOF関係者からは大変高い評価をいただくことができました。これを機会にさらに普及・発展に努力して行きたいと思っておりますので、今後とも一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



田中博(副総責任者兼運営責任者)

参加各国の感想も非常に良く、パークフェクトではないがベリーグッドな大会であったという評価です。ここに改めて、我々トレイルO部門のスタッフ一同お礼を申し上げます。特にボランティアで車椅子のエスコートをお願いしたOLC東海の皆さんや中京女子大の皆さん、そしてオリエンティア学生の方々のご努力には絶賛の嵐であり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。有難うございました。



(藤島由宇 三条 OLC)